

第2期米原市保健事業実施計画（データヘルス計画）の評価と第3期データヘルス計画等の策定にむけて

1 「データヘルス計画」とは

特定健康診査結果やレセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCA（Plan Do Check Action）サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画

「データヘルス計画の目的」とは

被保険者の年代ごとの身体的な状況に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、**健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持および向上**が図られ、結果として、**医療費の適正化および保険者の財政基盤強化**が図られること

3 【第2期計画に係る評価】

健康寿命の延伸に向けて短期・中長期目標を設定

短期目標

- ① 特定健診・特定保健指導の実施率向上
- ② 高血圧・脂質異常症・糖尿病・慢性腎臓病の有所見者等の減少

中長期目標

- ③ 虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症・慢性腎不全・人工透析の患者発生率の減少、医療費の増加抑制

短期目標の評価② 高血圧・糖尿病等の有所見者の減少

【達成状況】 S：目標達成 A：改善 B：大きな変化なし C：悪化

目標項目	計画策定時	実績値							目標値	評価
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)		
高血圧	有所見者の割合(160/100mmHg以上)	4.8%	5.8%	7.4%	6.8%	10.3%	6.9%	8.3%	6.8%未満	C
	医療機関受診率(未治療160/100mmHg以上)	65.7%	49.5%	64.7%	55.2%	53.1%	65.5%	57.1%	60.0%以上	B
糖尿病	有所見者の割合(HbA1c6.5%以上、治療中でHbA1c7.0%以上)	5.4%	6.3%	5.4%	5.9%	5.4%	7.3%	7.1%	5.9%未満	C
	有所見者の割合(HbA1c8.0%以上)	0.2%	0.4%	0.3%	0.4%	0.2%	0.5%	0.3%	0.40%未満	S
	医療機関受診率(未治療HbA1c6.5%以上)	79.4%	83.3%	91.1%	79.0%	82.0%	90.6%	83.8%	85.0%以上	A

【主な取組】

- 保健師・管理栄養士による、訪問や面接等による保健指導の実施。保健指導の力量形成のため、外部講師による保健指導研修会を開催
- 家庭血圧測定促進のために血圧手帳の配布、血圧計の貸し出し

2

【計画期間】
(6年間)

平成30(2018)年度
計画策定

令和2(2020)年度
中間評価実施

令和5(2023)年度
最終評価実施、計画策定

第3期データヘルス計画、第4期特定健診等実施計画
令和6(2024)年度～令和11(2029)年度

第2期データヘルス計画、第3期特定健診等実施計画

<データヘルス計画策定の手引きより>

計画期間：都道府県における医療費適正化計画や医療計画等が令和6～11年度までを次期計画期間としているので、これらと整合性を図るため同期間とすることが基本。
標準化の推進：都道府県で共通の評価指標を設定することにより、同じ指標で経年的にモニタリングでき、他の保険者と比較することができ、自保険者の客観的な状況を把握できることを期待。データヘルス計画策定のための共通の様式例が示される。

短期目標の評価① 特定健診・特定保健指導の実施率の向上

【達成状況】

S：目標達成 A：改善 B：大きな変化なし C：悪化

目標項目	計画策定時	実績値							目標値	評価
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)		
特定健診受診率の向上	47.9%	46.3%	46.5%	49.6%	37.9%	44.7%	46.4%	50.0%	B	
特定保健指導実施率	71.4%	65.8%	67.7%	59.9%	61.4%	57.4%	45.9%	75.9%	C	

※R4は速報値

【主な取組】

- 集団健診の休日の実施、令和4年度から特定健診の受診料を無料化し、受診しやすい環境作り
- 令和2年度より集団健診を予約制とし、短時間で受診できる環境作り
- 市内医療機関への保健事業の説明と受診勧奨依頼
- 未受診者への受診勧奨はがきを年3回送付、電話勧奨の実施
- 対象者の希望に合わせた時間や場所での保健指導の実施

中長期目標

虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症・慢性腎不全・

の評価③

人工透析の患者発生率の減少、医療費の増加抑制

【達成状況】

S：目標達成 A：改善 B：大きな変化なし C：悪化

目標項目	計画策定時	実績値							目標値	評価
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)		
虚血性心疾患	患者数の割合	4.1%	4.0%	4.0%	3.7%	3.5%	3.6%	3.7%	3.7%未満	A
	医療費割合	3.4%	2.6%	3.8%	2.6%	2.7%	2.0%	1.9%	2.6%未満	S
脳血管疾患	患者数の割合	3.1%	2.7%	3.0%	2.7%	2.4%	2.3%	2.2%	2.7%未満	S
	医療費割合	2.7%	2.7%	1.9%	2.0%	2.3%	1.7%	2.0%	2.0%未満	A
糖尿病性腎症	患者数の割合	0.94%	0.84%	0.95%	0.77%	0.69%	0.82%	0.78%	0.77%未満	A
新規人工透析	糖尿病性腎症と腎硬化症による導入割合(過去2年平均)	40.0% (6人)	43.5% (5人)	43.5% (5人)	41.7% (5人)	53.6% (7.5人)	42.9% (6.0人)	43.5% (5.0人)	41.7%未満	B

【主な取組】

- 健診内容の充実：虚血性心疾患等の予防のため、令和2年度より集団健診において心電図検査の全数実施。リスクのある人に対して、2次健診（頸部エコー検査等）の実施
- 重症化リスクのある方は、国の定める特定保健指導対象者でなくても保健指導を実施
- 医療機関との連携：腎専門医紹介基準の人に対して、早期に腎専門医との連携を図る

4

【計画策定の流れ】

5月

国より「データヘルス計画策定の手引きの改訂について」通知

6月

県よりデータヘルス計画の標準的な様式（ひな形）の提供

7月

県と市の共通目標値の協議（保健事業部会）

8月

国民健康保険運営協議会で説明・検討

9月

10月

ヘルスサポートラボによるデータ分析への助言・計画策定支援

11月

保健事業支援・評価委員会で助言を受ける

12月

国民健康保険運営協議会で説明・検討

3月

完成予定

第2期計画の評価

データ分析・保健事業の見直し・計画策定